

プログラム

5月24日(木)

12:00 受付・クローク開始

12:00～13:00 幹事会

会場：7F 730 研修室

12:30 メイン会場 開場

13:30～13:35 開催挨拶

村上 洋太（北海道大学理学院）

座長：佐々木 裕之（九州大学生体防御医学研究所）
中山 潤一（基礎生物医学研究所）

13:35～15:30 セッションⅠ

一般講演Ⅰ

13:35～14:10

O-1 DNA 維持メチル化と DNA 複製の共役機構

中西 真（東京大学医科学研究所）

14:10～14:45

O-2 マウス胚性幹細胞における内因性遺伝子発現ノイズの制御機構の包括的解析

落合 博（JST さきがけ、広島大学理学研究科数理分子生命理学専攻）

ショートトークⅠ

14:45～15:00

ST-1 内在性レトロトランスポゾンが哺乳動物卵子 DNA メチロームの多様性を生み出す

小林 久人（東京農業大学生物資源ゲノム解析センター）

15:00～15:15

ST-2 PML body による遺伝子転写制御メカニズムの解析～AP-CLaP 法を用いて～

栗原 美寿々（基礎生物医学研究所）

15:15～15:30

ST-3 クロマチン結合タンパク DEK のポリコム複合体標的遺伝子における役割の解析

中村 みゆき（スウェーデン農業科学大学、リンネセンター）

15:30～17:00 ポスター討論Ⅰ

P1-1～59、ST-1～10

17:00～19:00 セッション II

座長:中島 欽一 (九州大学大学院医学研究院)
齊藤 典子 (がん研究会がん研究所)

ショートトーク II

17:00～17:15

ST-4 静止期 B 細胞の活性化過程におけるクロマチン構造の変化

二村 圭祐 (大阪大学医学系研究科遺伝子治療学、
米国 NIH・NIAMS・Lymphocyte Nuclear Biology)

17:15～17:30

ST-5 転写因子が制御する DNA 脱メチル化ダイナミクス

鈴木 貴紘 (理化学研究所細胞機能変換技術研究チーム、
横浜市立大学大学院生命医科学研究科)

17:30～17:45

ST-6 ICF 症候群の分子基盤: CDCA7 は HELLS と結合し非相同末端結合型 DNA 修復を促進する

鵜木 元香 (九州大学生体防御医学研究所)

一般講演 II

17:50～18:25

O-3 ノンコーディング RNA による核内構造体構築

廣瀬 哲郎 (北海道大学遺伝子病制御研究所)

18:25～19:00

O-4 細胞老化における SASP の分子メカニズム

高橋 暁子 (公益財団法人がん研究会 がん研究所 細胞老化プロジェクト、
国立研究開発法人科学技術振興機構 さきがけ)

19:30～21:30 懇親会

プログラム

5月25日(金)

9:00 受付・クローク開始

9:20～11:00 セッションⅢ

座長：中尾 光善（熊本大学発生医学研究所）
宮成 祐介（基礎生物学研究所）

一般講演Ⅲ

9:20～9:55

O-5 1細胞レベルで見直した分裂間期マウス ES 細胞のクロマチン高次構造

永野 隆（大阪大学蛋白質研究所 細胞核動態情報研究室、ベイブラハム研究所）

9:55～10:30

O-6 メディエーター複合体のサブユニット MED26 による転写制御機構

高橋 秀尚（横浜市立大学大学院医学研究科）

ショートトークⅢ

10:30～10:45

ST-7 後天的エピゲノム改変による Kleeftstra 症候群治療可能性の探求

山田 亜夕美（理化学研究所）

10:45～11:00

ST-8 クロマチン状態による Dnmt1 の *de novo* メチル化活性制御

首浦 武作志（東邦大学理学部生物学科）

11:10～11:40 総会

12:00～13:00 ランチョンセミナー

第1会場：7F 710 会議室

主催：株式会社モノクローナル抗体研究所

L-1-1 1細胞エピゲノム解析技術の開発

大川 恭行（九州大学）

L-1-2 細胞内抗体 Mintbody を用いた生細胞エピジェネティクス解析

佐藤 優子（東京工業大学 科学技術創成研究院）

第2会場：10F 1060 会議室

主催：アクティブ・モティフ株式会社
株式会社レリクサ

L-2 身近になった ChIP-seq, ATAC-seq 解析 - Active Motif と Rhelixa の受託サービス

米沢 理人（アクティブ・モティフ株式会社）、仲木 竜（株式会社レリクサ）

13:20～15:00 セッションⅣ

一般講演Ⅳ

13:20～13:55

O-7 母性ヒストン修飾によるゲノム刷り込み機構

井上 梓 (理化学研究所 生命医科学研究センター)

13:55～14:30

O-8 複製染色体での PCNA の動態制御

釣本 敏樹 (九州大学理学院 生物科学部門)

ショートトークⅣ

14:30～14:45

ST-9 核内足場クロマチン構造を介した ncRNA, SNORD116HG の作動機序の解明

目黒 牧子 (金沢大学学際科学実験センター)

14:45～15:00

ST-10 DNA メチル化酵素が哺乳類の染色体 DNA 複製制御に果たす役割

竹林 慎一郎 (三重大学大学院医学系研究科)

15:00～16:30 ポスター討論Ⅱ

P2-1～59、ST-1～10

座長:副島 英伸 (佐賀大学医学部分子生命科学講座)
眞貝 洋一 (理化学研究所)

16:30～18:10 セッションⅤ

16:30～17:00 奨励賞受賞講演及び授賞式

A-1 有機化学を用いた DNA およびヒストン修飾解析法の確立

林 剛介 (東京大学工学系研究科化学生命工学専攻)

17:00～17:35 一般講演Ⅴ

O-9 iPS 細胞技術によるがん細胞の理解と制御

山田 泰広 (東京大学医科学研究所 先進病態モデル研究分野)

17:35～18:10 次回年会長講演

N-1 ポリコム群による発生制御メカニズム

古関 明彦 (理化学研究所 統合生命医科学研究センター)

18:10～18:15 閉会挨拶

村上 洋太 (北海道大学理学院)